

あなたのお役にたつ情報になれば幸いです。では、今月もスタートいたします

動産の処分にお困りではありませんか？ まずはご一報ください。動産の査定処分に実績があります。

動産流通よもやま話

2012年1月
【第2号】

(この動産流通よもやま話は名刺交換していただいた方 や 何かしらご縁を頂いた方に配信しています。)

初めまして。。動産の処分にお困りの方は以外に多いものです。また、「こんなものがお金になるんですか？今まで全部捨ててましたよ。」とも、もっといい方法が…

「知って得する動産マメ知識」

『処分は少しづつ！？』

家財道具の処分は、引っ越しの時や大掃除の際にされる方が多く、動産買取・処分の依頼が一回限りで終る方がほとんどです。

ところが、私のおお客様の中には一年に数回、動産買取・処分の依頼を下さる方がおられます。その方にお話を伺うと、亡くなられた方の思い出の品々を少しづつ整理されているとのことでした。そして、一定量が貯まったら、私にご連絡下さっていたというのです。

私はその度に出向く訳ですが、時には10分程度で品物の査定は終わってしまい、後の時間は、もっぱらお客様の話し相手です。しかし、この時間こそが大切な情報収集の時間であり、お客様に安心感を持って頂く時間です。

地域戦略では、私の出身地を最重要地域に定めておりますので、地域の話には事欠きません。ご子息がおられる場合は、ほとんどが幼稚園、小学校、中学校の先輩・同輩・後輩です。

私の仕事は、お客様のお宅に上がらせて頂く仕事です。お客様からすると、全く見ず知らずの人間が家に入ってくる不安感は簡単にぬぐえませんが、この障壁を同じ地域出身者ということで何度も乗り越えることが出来ました。「今日も話し出来て楽しかったわ。うちのモノの処分は全部、余川さんに任せますからね」という言葉を頂けると、これ程うれしい事はありません。しかし、お客様の本当の目的は話し相手が欲しさかな？と勘ぐってしまう私がありますが…(笑)

『モモ』 ミヤイル・インダ著

岩波書店

この本と最初に出会ったのは小学校六年生の時ですが、私が今だに繰り返し読み続けている童話です。子供向けの童話ですが、内容は資本主義の矛盾を鋭く突いた重いテーマが含まれています。

資本主義が発達・暴走すればする程、人間が何故忙殺されていくのかを子供にも分かるように書かれており、私は昔も今も夢中になって読んでおります

おすすめの1冊

211ページの「人間は自分の時間をどうするかは、自分自身で決めなくてはならない」の所には読む度にハッとさせられます。日々、忙しく時間不足を感じている方にはお勧めの一冊です。

【編集後記・余川談】

明けまして、おめでとうございます。本年もよろしく願い致します。

戦後最大の国難と言われた昨年ですが着実に復興への道を進みたいものです。私の住む神戸市も阪神大震災では壊滅的な打撃を受けました。しかし、時間はかかっても必ず復興するのです。諦めずに種をまいて参りましょう！

【発行者プロフィール】 名前:余川英俊。ヒデ企画株式会社 代表取締役。1968年生。神戸市須磨区出身。平成13年「道具屋芋銭(うせん)」として事業を開始。地域密着型の事業活動を徹底して実践。これまでに1000件以上の鑑定・買取の実績がある。又、鑑定・買取と同時に、換金不可能な動産の処分も引き受ける「ワンストップサービス」も提供していて、お客様に喜ばれている。

動産の処分にお困りではありませんか？ まずはご一報ください。ご連絡先:090-8238-7614

動産流通よもやま話 発行責任者 動産流通研究所 代表 余川英俊 / 運営 ヒデ企画株式会社

〒652-0801 兵庫県神戸市兵庫区中道通2丁目1番17号 TEL.078-579-6395 / FAX.078-579-6399
URL: <http://dousanryuutsuu.com/> e-mail: yokawa@dousanryuutsuu.com